

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月27日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東
 ヨンズ株式会社
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,425	0.1	679	54.3	689	61.1	426	89.9
2020年3月期第3四半期	4,421	12.5	440	22.5	427	29.5	224	△5.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 688百万円(131.8%) 2020年3月期第3四半期 297百万円(147.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 19.01	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	10.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 9,390	百万円 5,179	% 55.2
2020年3月期	8,539	4,563	53.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,179百万円 2020年3月期 4,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.40	円 銭 1.40
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△0.6	710	57.5	705	59.3	435	110.2	19.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	23,484,226株	2020年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,158,746株	2020年3月期	955,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	22,421,399株	2020年3月期3Q	22,441,992株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大の影響により景気が急速に悪化した後、第一回目の緊急事態宣言の全面解除をきっかけに経済活動が再開し始めたものの、「第2波」及び「第3波」の影響もあってサービス消費は依然低水準にとどまり、景気持ち直しの動きも鈍化しております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高4,425百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益679百万円(前年同期比54.3%増)、経常利益689百万円(前年同期比61.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円(前年同期比89.9%増)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、書籍のオンライン販売、Webメディア及び電子書籍販売などの各事業が期初から好調に推移したことに加え、コロナ環境下に対応した業務の効率化などにより売上高2,764百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益(営業利益)684百万円(前年同期比22.4%増)と増収増益になりました。

コーポレートサービス事業におきましては、徐々に業績回復し当第3四半期連結会計期間業績が黒字となったものの、第1、第2四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症拡大による受託案件減少をカバーしきれず、売上高459百万円(前年同期比31.3%減)、セグメント損失(営業損失)13百万円(前年同期はセグメント利益58百万円)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、新規事業の採算が徐々に向上してきたことや、既存コンテンツ売上などが堅調に推移したことなどから、売上高551百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益(営業利益)25百万円(前年同期はセグメント損失109百万円)となりました。

教育・人材事業におきましては、IT人材研修事業が期初から好調に推移したことに加え、オンライン化の推進などが功を奏し、売上高542百万円(前年同期比21.1%増)、セグメント利益(営業利益)118百万円(前年同期比31.1%増)と増収増益になりました。

投資運用事業におきましては、有価証券投資運用額増加に伴う利息・配当金収入増加を主因に、売上高107百万円(前年同期比14.5%増)、セグメント利益(営業利益)63百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、営業投資有価証券562百万円増加、現金及び預金375百万円増加、並びに繰延税金資産112百万円減少を主因に、前連結会計年度末比851百万円増の9,390百万円となりました。負債については、有利子負債163百万円増加、及び未払法人税等82百万円増加を主因に、前連結会計年度末比235百万円増の4,211百万円となりました。純資産については、利益剰余金394百万円増加、及びその他有価証券評価差額金262百万円増加を主因に、前連結会計年度末比616百万円増の5,179百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2020年10月23日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想及び2020年5月8日に公表いたしました2021年3月期期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,432	2,808
受取手形及び売掛金	1,374	1,293
営業投資有価証券	1,669	2,231
商品及び製品	596	598
仕掛品	108	163
原材料及び貯蔵品	8	9
その他	102	97
貸倒引当金	△3	△0
流動資産合計	6,287	7,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	815	815
減価償却累計額	△403	△419
建物及び構築物（純額）	411	396
土地	1,089	1,089
その他	314	346
減価償却累計額	△280	△294
その他（純額）	33	52
有形固定資産合計	1,534	1,537
無形固定資産		
その他	21	29
無形固定資産合計	21	29
投資その他の資産		
投資有価証券	187	230
敷金及び保証金	70	66
繰延税金資産	316	204
その他	135	124
貸倒引当金	△14	△4
投資その他の資産合計	694	621
固定資産合計	2,251	2,188
資産合計	8,539	9,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384	344
1年内償還予定の社債	310	150
短期借入金	1,263	1,375
未払法人税等	52	134
賞与引当金	90	34
返品調整引当金	95	91
その他	574	633
流動負債合計	2,772	2,764
固定負債		
社債	465	670
長期借入金	255	261
役員退職慰労引当金	90	92
退職給付に係る負債	367	386
資産除去債務	1	1
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	16	27
固定負債合計	1,203	1,446
負債合計	3,975	4,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,761	1,752
利益剰余金	1,645	2,039
自己株式	△207	△239
株主資本合計	4,733	5,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	75
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	△170	92
純資産合計	4,563	5,179
負債純資産合計	8,539	9,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,421	4,425
売上原価	2,328	2,202
売上総利益	2,092	2,223
返品調整引当金戻入額	5	4
差引売上総利益	2,098	2,227
販売費及び一般管理費	1,658	1,547
営業利益	440	679
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	3
為替差益	3	4
古紙売却収入	1	0
償却債権取立益	6	-
補助金収入	-	17
その他	3	2
営業外収益合計	16	29
営業外費用		
支払利息	10	8
社債発行費	7	7
支払保証料	2	2
支払負担金	7	-
その他	-	0
営業外費用合計	28	19
経常利益	427	689
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	22	-
特別利益合計	23	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	9	15
減損損失	45	4
新型コロナウイルス感染症による損失	-	8
特別損失合計	55	28
税金等調整前四半期純利益	395	661
法人税、住民税及び事業税	74	220
法人税等調整額	96	14
法人税等合計	171	234
四半期純利益	224	426
親会社株主に帰属する四半期純利益	224	426

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	224	426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	262
その他の包括利益合計	72	262
四半期包括利益	297	688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297	688
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行い、この処分により自己株式は37百万円(171,780株)減少いたしました。また、2020年7月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、この取得により自己株式は69百万円(375,000株)増加いたしました。この結果等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は239百万円(1,158,746株)となりました。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループにおきましても、書店や運営するゲームセンターの一時休業等により当連結会計年度以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に一定の影響が及んでおります。

当感染症の収束時期やその影響の程度を合理的に予測することは現時点では困難なことから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の年間を通じて当該影響が継続するものと仮定をして、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の認識の判定等にかかる会計上の見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。